

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

性犯罪・性教育・性学習調査研究報告コホート (ゾーン)

性被害の通告・通報とその結果の例

まるで物語のような女性の現実にかけて

初版：2004年4月17日

最終更新：2019年9月9日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

目次

1. 私たちの通告・通報活動
2. 通告・通報とその結果の例
3. 私たちが得意とする分野と今後の課題
 女性（母親・姉妹・OL・女子大生など）による内職・バイト感覚での性的搾取の実態

1. 私たちの通告・通報活動

私たちは、別途解説した以下の四か所の保管庫に保管している資料を、当該資料を提供して下さった性被害・精神症状を抱える女性の証言をもとに調査研究し、犯罪性（可罰的違法性）が認められると判断した場合、通告・通報を行っております。

- ◎ 旧第一女性提供・委託資料保管センター（着用衣類、使用物品等）
- ◎ 旧第二女性提供・委託資料保管センター（日記、媒体等）
- ◎ 新第一女性提供・委託資料保管センター（着用衣類、使用物品等）
- ◎ 新第二女性提供・委託資料保管センター（日記、媒体等）

2. 通告・通報とその結果の例

ここには、主に連携女子シェアハウスの入居女性が受けた性被害について、女性本人から掲載の要望または許可のあった事例を掲載しています。（女現研への移行前は、調査通告部とメンタルケア部が中心となって作成したコーナーの一つです。）

掲載しております例は、ほんのごく一部です。私たちは、一年に50～80件の通告・通報を行っております。日本では、被害女性の人数（あるいは、被害女性による親告件数）に対して、実際に加害者に有罪判決が下されるケースは極めて少なく、民事でさえ被害女性の希望通りに進むことは少なくなっていますが、それでも女性たち自身の自助・ボランティア活動にしては、私たち女現研の活動は功を奏していると自負しております。

今後とも、被害女性の皆様が安心して暮らせるよう、活動を頑張ってまいります。

2018年

●女子高校生の自宅での入浴・着替えの様子を盗撮し全国の男性に無修正動画として無料配信した母親と姉を通告。（当シェアハウススタッフが一部の映像を回収。）

→ 被害女性がシェアハウスに入居。

2017年

●娘（大学生）の自宅での入浴・排泄の様子を盗撮し全国の男性に無修正動画として無料配信した母親を通告。（当シェアハウススタッフがマスターデータを回収。）

→ 被害女性をシェアハウスで一時保護。

●娘（大学生）の自宅個室を自分たちの性行為とその撮影場所に使用した母親と知人男性

を通告。(当シェアハウススタッフが映像を回収。)

→ 被害女性がシェアハウスに入居。

2016年

●公益財団法人全国里親会や NPO 法人全国おやこ福祉支援センターを通じて里親を紹介された里子が、里親に性的虐待を受けたり素人 AV 女優として転売されたため、保護。シェアハウスに入居。

●娘(中学生)の下着(使用済み・未洗濯のもの)および排泄物を知人男性に売り渡した母親を通告。(当シェアハウススタッフが衣類を回収。)

→ 被害女性をシェアハウスで一時保護。

2015年

●公益財団法人全国里親会や NPO 法人全国おやこ福祉支援センターを通じて里親を紹介された里子が、里親に性的虐待を受けたり素人 AV 女優として転売されたため、保護。シェアハウスに入居。

2014年

●女子大の更衣室で友人女性を盗撮し映像を知人男性に売り渡した女子大生と当該知人男性に対し、被害女性と当事務局スタッフが呼び出しの上、全ての映像の破棄を要求し、警察への通告を予告。

→ 映像を複製し多くの男性にばらまいていたため、回収不能。被害女性の意志により、要求と予告を取り下げ。被害女性はシェアハウスに入居。

●娘(中学生)に対する知人男性によるわいせつ行為を撮影し全国の男性に無修正動画として無料配信した母親と母親の友人女性を通告。(当シェアハウススタッフがマスターデータを回収。)

→ 被害女性をシェアハウスで一時保護。現在も再三に渡り相談・通告を継続中。

2013年

●友人(大学生)の飲料に睡眠薬を入れ、男子学生によるレイプに協力した女子学生3名とレイプ実行者である男子学生1名を通告。(当シェアハウススタッフが加害生徒らを特定し、加害生徒の両親に通告。)

- 被害女性がシェアハウスに入居。現在も再三に渡り相談・通告を継続中。
- 娘（幼女）の下着（使用済み・未洗濯のもの）を Yahoo!オークション（ヤフオク!）に出品した母親を通告。
 - 現在も再三に渡り相談・通告を継続中。

2012年

- 自宅内での知人男性との性行為中に、同居する娘（高校生）の下着・制服類を性行為に使用した母親と知人男性を通告。（当シェアハウススタッフが衣類を回収。）
 - 被害女性がシェアハウスに入居。
- 娘（大学生）の自宅での入浴・着替え・排泄の様子を盗撮し全国の男性に無修正動画として無料配信した母親を通告。（回収できず。）
 - 被害女性がシェアハウスに入居。
- 娘（高校生）の下着（使用済み・未洗濯のもの）および排泄物を知人男性に無償譲渡した母親を通告。（当シェアハウススタッフが衣類と排泄物の一部を回収。）
 - 被害女性がシェアハウスに入居。

2011年

- 娘（中学生）の下着（使用済み・未洗濯のもの）および排泄物を知人男性に売り渡した母親を通告。（当シェアハウススタッフが衣類を回収。）
 - 被害女性をシェアハウスで一時保護。
- 娘（大学生）の自宅での入浴・排泄の様子を盗撮し全国の男性に無修正動画として無料配信した母親を通告。（当シェアハウススタッフがマスターデータ回収。）
 - 被害女性がシェアハウスに入居。

2010年

- 娘（高校生）の下着（使用済み・未洗濯のもの）を知人男性に売り渡した母親を通告。（当シェアハウススタッフが下着を回収。）
 - 被害女性をシェアハウスで一時保護。

3. 私たちが得意とする分野と今後の課題

女性（母親・姉妹・OL・女子大生など）による内職・バイト感覚での性的搾取の実態

性被害の通告と女性の保護の例、性被害調査・性被害物回収の状況、資料保管センターでの保管・調査状況をご覧いただいても分かるように、当シェアハウスの調査通告部（現在は女現研の各セクター）は、母親（実母・義母）による娘に対する性的搾取や姉妹どうしでの性的搾取、同僚女性・友人女性・レズビアンパートナー（OL・主婦・女子大生など）による被害女性に対する性的搾取の調査・通告を得意としています。つまりは、女性の女性に対する性的加害の暴露活動が、私たちの特徴と言えますし、また、いっそうそれに力を入れるようになっていきます。

家庭内での、ましてや被害女性から見た同性の親や姉妹による性的搾取や、同僚女性・友人女性・レズビアンパートナー間での性的搾取は、男性による強姦（レイプ）のように目に見えて刑事事件化しやすい性的暴行に比べれば、裏に隠れやすく、また直接的な暴力行為を伴わない場合が多いため、被害女性も黙って生きていることが少なくありません。

加害女性に（働き盛りのOL以上に）母親や女子大生・女子中高生が多く含まれ、特に、裕福な専業主婦と困窮しているシングルマザーに二極化している理由は、これらの女性が置かれた特有の状況もあると考えられます。

既婚の専業主婦である加害女性の場合、経済的に困窮しているケースはほとんど見られず、平凡な日常を変えようとして、自宅にいる間、夫やパートナーのいない時間を狙って娘を撮影した動画・画像や娘の下着類・衣類を、知人男性、不倫相手、ネットで知り合った男性、他の主婦などに売り渡しているケースが目立ちます。小遣い稼ぎや暇つぶしといった意味が大きいのでしょうか。

一方、シングルマザーなどである加害女性の場合、経済的に困窮している場合が多く、自身や娘の性を売ることによって家計を支えているほか、自分以外に家の中に大人がいないことから、人目を気にすることなく単独犯行が可能です。

盗撮のみを自身で行い、動画の制作作業などは性のパートナー、知人の男性、友人などに依頼しさえすれば、あとは母親がクリック一つで不特定多数のネットユーザーに我が娘の裸の動画や画像をばらまくことができます。

また、家事を一手に引き受けている主婦の場合、被害女兒・女性の排泄物・体液が付着した下着類を意図的に洗濯しないことや、在学中の娘の帰宅前における売り渡し・譲渡・貸し出しなどが可能であり、このような状況が、排泄物・体液が付着した下着類を要求する買い手・受取人の希望に合致しやすいと考えられます。

女子大生や女子中高生の場合、更衣室・部室など、女性ばかりで集まったり女性の私物が多く置かれたりする場所に頻繁に入れることから、友人女性の裸を盗撮したり衣服・生理用品などを盗んだりすることが簡単に可能になっていると言えます。

女子大のトイレや公衆女子トイレに盗撮カメラを設置するのは、当然男性よりも、男性に協力している女性である場合のほうが多く、女性の主導による犯行であることも多くなっています。しかし、痴漢をめぐる現状と同じで（女性による女性への痴漢が、多々存在

するにもかかわらず、ほとんど表に出ず、男性ばかりが逮捕・検挙されたり冤罪事件に巻き込まれたりしているのと同じで)、盗撮の共犯の場合は、男性が主導者と見なされ重罪とされる傾向にあり、また、女性の単独犯であったとしても逮捕・検挙されるケースは少なくなっています。

また最近、女性専用スパやエステサロン、女子大生サークルなど、女性しか入ることのできない場で、女性メンバーによる新規入会女性に対する盗撮や、わいせつ行為、性風俗業就業・AV出演の勧誘も増えています。

いずれにせよ、現代は、女性にとって「内職」・「バイト」感覚で性犯罪・性的虐待がしやすい環境が整ってきていると言えそうです。良い面でも悪い面でも、女性の社会進出が進み、女性の発言権が強くなってきているようです。

あるいは、こういった加害女性には、自らの裸の映像・画像を撮影して売っている場合も多く、自分が好んだり憎んだりしている女性や自分の娘の裸を撮影してばらまきたいという欲望からではなく、単に自身の性的・金銭的欲望のために撮影しているケースも多くなっているようです。

「皆がやっていることなのに、どうして悪いのか」、「娘や友人女性や自分の体でお金儲けができるなら、使わせてもらおう」という罪悪感のなさが、身近な女性にも蔓延しているのだと考えられます。

私たちは、女性による女性に対するこういった性犯罪・性的虐待も、直接的な性暴力と同等の性暴力であると考えています。「裏に隠れた、静かで、悪魔的な」性暴力、「本当の悪」と言ってよいと思います。これは、多くのフェミニズム団体とは異なる意見であることは重々承知しておりますが、私たちの立場として、譲るわけにはいかないものです。

日本はアダルトビデオ (AV) 大国であり、「内職」・「バイト」感覚で出演している主婦や女子大生が後を絶ちません。プロか否かにかかわらず、生涯のうち一度でも AV 出演の経験がある女性を数えると、数万～数十万人にのぼると考えられ、インターネット上にも膨大な量の AV 動画や盗撮動画が出回っています。ただし、これらの女性たちのほとんどは、性犯罪・性的虐待の加害者でも被害者でもありませんし、私たちも、合法のものである限り、問題視していません。私たちが問題視し、追究しているのは、そのさらに裏にある「悪」の世界、つまり、母親が娘の裸を盗撮して販売したり、女子大生が友人女性の下着を盗んで販売したりといった例なのです。

全体として、女性の性観念の幅広さが私たち女性自身にも理解しにくくなってきていると言えるでしょう。